

daito

スペシャル・

イ ン タ ビ ュー

「発想力を活かし 無限大の可能性へ」

山内一裕室谷由紀

される中、今回は、日本将棋連盟の室谷女流二段 にお越し頂き、当社グループの経営に関するテー マを幅広く山内社長にインタビューして頂きまし



発想力| が大切だと言われま す。また、棋士は盤上の81 マスに「無限の可能性」を追

求するとも言われます。ダイトウボウグループのシン ボルマークのテーマ「発想力を活かし無限大の可能性 へ」は、こうした将棋の考えにも通じるものを感じま すが、どのような意味を込めて作られたのですか?



を無限大のインフィニティを モチーフとしてロゴ化し、ま た、「ilの文字を人に見立

てて、頂点の●は柔軟な発想力のアタマをイメージし ました。これにより、当社グループが「発想とヒト」 を武器に持続的な企業価値の向上を進め、人々の豊か な生活に寄与するとの想いを込めました。おっしゃる 通り、「発想力」と「無限大の可能性」というキーワー ドは、将棋に通じるものがあると思っています。

ダイトウボウグループの歴史は創立122年目を 迎え、事業会社として相当の歴史を感じます。 この歴史の重みについてどうお感じですか?

今年度に入り、中学生プロ棋士で連勝記録を更新

した藤井聡太四段や"ひふみん"の愛称で人気のあ

る加藤一二三九段、さらに12月には羽生善治竜王

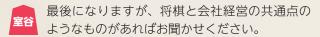
が史上初の永世七冠の資格を得るなど将棋が注目

日本の将棋の歴史約1,000年には遠く及びませ んが、株主様はじめ顧客や取引先の皆様への感 謝の気持ちと、曲がりなりにも今日まで歴史を紡ぎあ げて来たという自負の気持ちは、社員一同が共有して いるところです。

ところで、現在進めている「中期経営計画 Bridge 室谷 to the Future ~未来への架け橋~」は今年度が 最終年度ということですが、来年度以降に向けた取り組 みについてお聞かせください。

現在、次期中期経営計画の策定作業中ですので、 具体的なことをお話しできる段階ではありません が、商業施設事業において追加開発の予備検討を進めて います。また、ヘルスケア事業においては資本業務提携 先との連携を強化するとともにM&Aなども検討対象に することで、事業の柱の一つに育てたいと考えています。

次期中期経営計画では、復配も視野に、当社グループの 成長を確実なものとしてお示ししたいと思っています。



無から有を生む「発想力」、そこからの「無限大 の可能性」はビジネスそのものに通じると考え ています。また、将棋のもうひとつの重要な要素であ る「大局観」は、経営にとっても重要な要素です。こ れからAIの進化とともに、世の中の仕組みが大きく 変わっていく中で、人間の可能性をさらに広げるべく 大局観を持って先を読んだ経営を心掛けたいと思って います。また、社内の行動指針に掲げている「3手先 を読む」は将棋用語であり、将棋用語は実際にビジネ スの現場で数多く活用されています。当社としては、 今後、社内研修の一環としても将棋を取り入れること で、人材育成に役立てたいと考えています。

ありがとうございました。山内社長のお話を伺 い、歴史あるダイトウボウグループのさらなる

室谷由紀女流二段

日本将棋連盟所属の女流棋士。14歳で関西女流アマ名人戦優勝。 2009年女流プロ入り後、2016年マイナビ女子オープンでタイ トル初挑戦。大阪府出身。2017年10月大阪府狭山市観光大使に 就任。NHK将棋番組などテレビ・イベント出演多数。

可能性を感じました。将棋が、ダイトウボウグループ の人材育成に役立つのであれば、とても嬉しいことで す。今後も、「発想力を活かし無限大の可能性へ」向か って歩を進めていかれることを期待しています。

私も、将棋には以前より興味があり、大変有意 義なお話を聞かせて頂けたと喜んでいます。こ れからも応援をよろしくお願いします。



